

別紙

中国木材株式会社 郷原工場温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中国木材株式会社 郷原工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市郷原町字一ノ松光山626-2

(3) 業種

一般製材業 (No. 1211)

2 計画の期間

本計画の期間は平成20(2008)年度を基準年度とし、平成23(2011)年度から平成28年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスマಿನし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： エネルギー起源CO₂：製品生産量 (千m³)

メタン・一酸化二窒素：バイオマスボイラー蒸発量 (千トン)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成20年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成28年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))			
			平成23年度	平成24年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	23.8	22.6 5%	29.41 123.6%	28.46 119.8%		
非エネルギー起源CO ₂						
メタン	2.84	2.84 0%	3.32 158.4%	2.88 137.4%		
一酸化二窒素	0.283	0.283 0%	0.38 182.8%	0.33 158.9		
フロン類						
温室効果ガス総排出量						
エネルギー消費原単位(原油換算kl)	10.52		10.28 97.7%	10.87 103.3%		
実績に対する自己評価	エネルギー起源CO ₂ およびエネルギー消費原単位の増大の原因は、物流コストの低減のため茨城県鹿島工場の増産に伴う減産によりバイオマス発電量が低下したため。更にエネルギー起源CO ₂ は中国電力の排出係数が基準年比で118%となった影響が大きい					

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料原単位の削減	基準年度比1.2%増加	・バイオマス発電設備の発電量向上によるディーゼル発電稼働率の低下
2	電力原単位の削減	基準年度比3.2%増加	・バイオマス発電設備の発電量向上 ・高性能インバーター機器への更新 ・高効率照明器具への更新 ・無駄な電力消費の削減
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	上水道の使用量削減	上水使用量を25%以上削減	自然水の有効活用
2	国産材の有効利用	国産材取扱い量1万m ³ /年以上	国産材製品ハイブリッドビームの増産
3	太陽光発電設備の新設（メガソーラー）	温室効果ガス 年間約3,000t-CO ₂ 削減	郷原（広島）・伊万里（佐賀）・鹿島工場（茨城）3箇所に合計5,017kWの太陽光発電設備を新設（平成25年5月完成）
4	木質バイオマス発電設備の新設	温室効果ガス 年間約76,000t-CO ₂ /年削減	H26年末に出力18,000kWの高効率バイオマス発電プラントを日向工場（宮崎県）に新設予定

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。